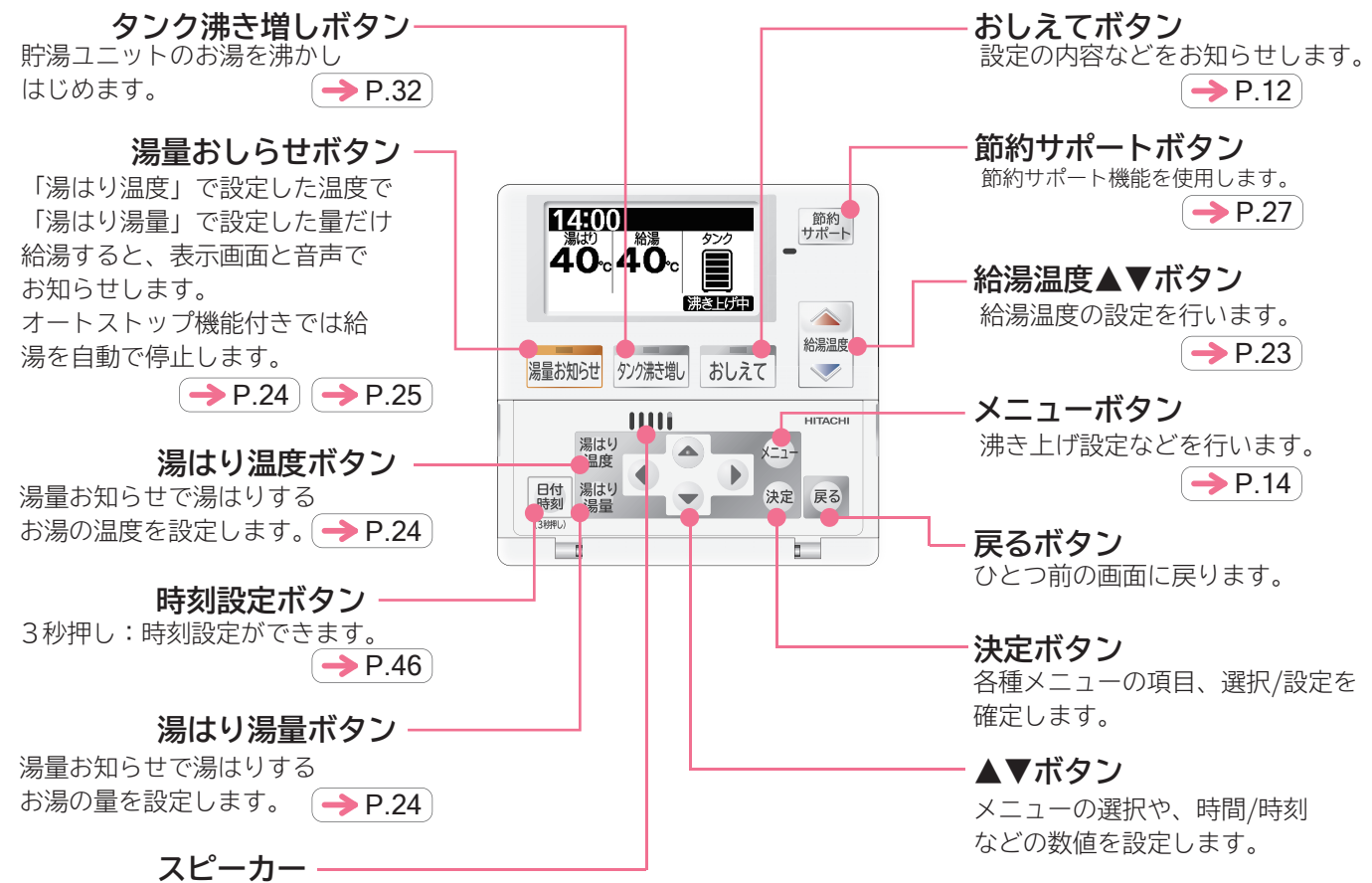


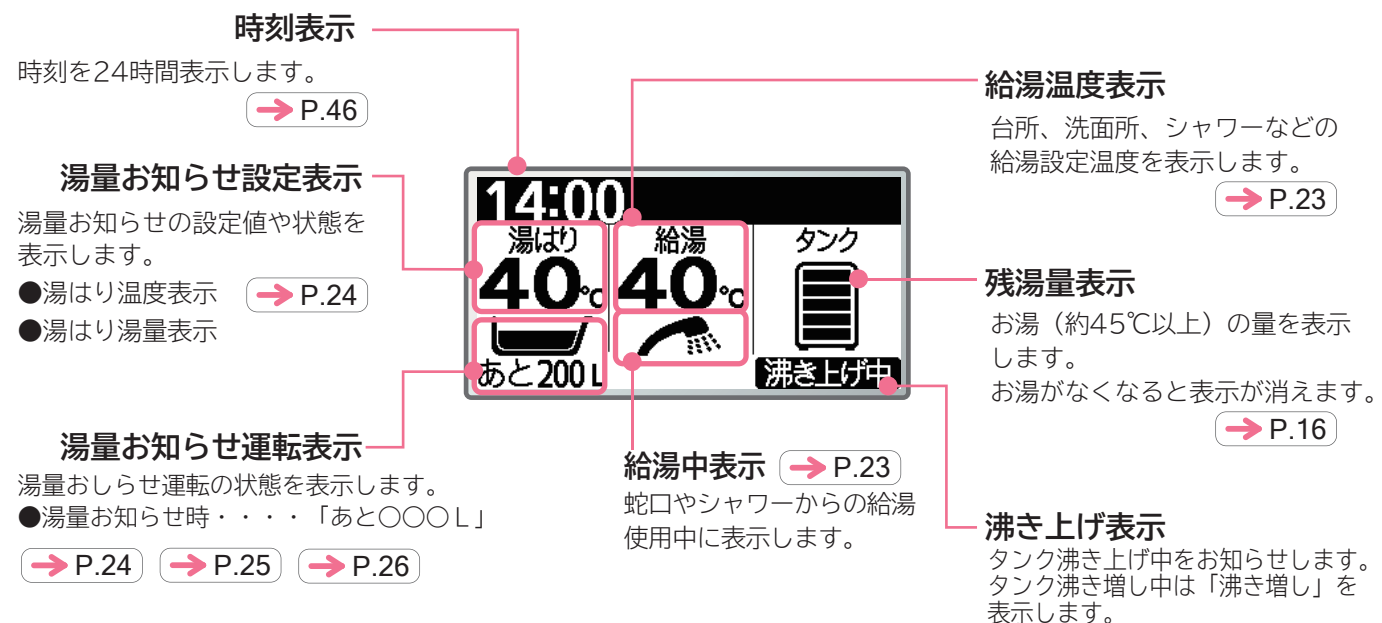
リモコンの使いかた

台所リモコン



表示画面

●表示は標準画面例です。状況により、表示内容は異なります。



日立エコキュート 家庭用ヒートポンプ給湯機

カンタンご使用ガイド

詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。

→ P.〇〇 このマークは「取扱説明書」の記載ページです。

はじめてお使いのときの確認

1 使用できる状態かを確認します。

- 1 貯湯ユニットの、タンク専用止水栓は「開」になっていますか？ → P.4
- 2 貯湯ユニットのタンクが満水になっていますか？ → P.35
- 3 200V電源ブレーカーの、スイッチは「ON」になっていますか？ → P.4
- 4 貯湯ユニットの、漏電遮断器のスイッチは「ON」になっていますか？ → P.3

●エコキュートの上手な使い方のポイント → P.17

必要な量だけお湯を沸かし、上手に使い切ることが省エネのポイントです。
沸き上げ設定は、「おまかせ節約」になっているかご確認ください。

お願い

●タンク専用止水栓が「閉」になっている場合や、スイッチが「OFF」になっている場合は、お買い上げの販売店または工事店に「スイッチを「ON」にすれば使用できるか。」「タンク専用止水栓を「開」にすれば使用できるか。」をお問い合わせいただき、使用できることを確認してください。

2 リモコンが使える状態になっていますか？

- 1 表示画面に表示は出ていますか？
- 2 表示画面にバックライトが点灯しますか？

点灯していないときは



ボタンを押してみてください。

- 3 表示画面は見にくいでしょうか？
表示画面が見にくい場合は、コントラスト設定をしてください。 → P.12

表示画面について

各リモコンは、約1分間ボタン操作をしないと自動的にバックライトが消えます。
再度ボタンを押すことで、バックライトが再点灯します。

3 時刻は現在時刻になっていますか？

- 1 現在時刻になっていないときは、現在時刻にしてください → P.46

ご注意 時刻表示について

現在時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。確認をお願いします。

4 残湯量目盛を確認します。

- 1 目盛が より多い場合は、お湯を使うことができます。 ※残湯量の見かた。 → P.16
- 2 目盛が のような場合は、次の確認をしてください。

A 「沸き増し」が表示されている場合

- が表示されるまでお待ちください。（約60分～120分） → P.16

B 「沸き増し」が表示されていない場合

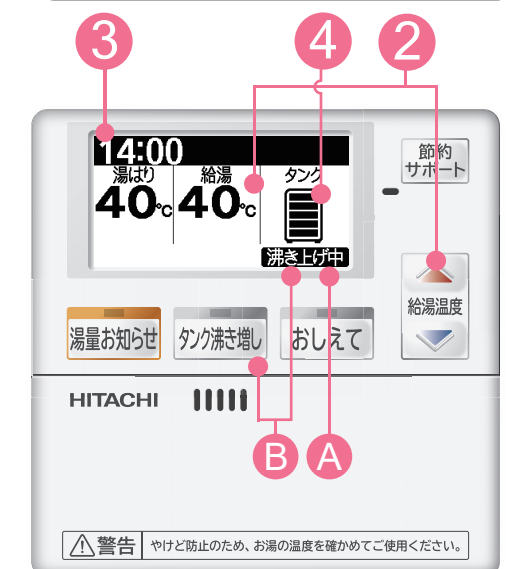
- ボタンを押して沸き上げを行ってください。 → P.32



が表示されたらお湯を使うことができます。

※残湯量の見かた。 → P.16

台所リモコン



音声ガイドについて

音声ガイドは、「しんせつ」「標準」「切」の3つのモードがあり、モードにより音声ガイドの内容が異なります。
本説明書は「しんせつ」モードで説明しています。 → P.45

お湯の使いかた

1 給湯温度（お湯の温度）の表示を確認します。
●適温であれば **3** 「混合水栓を開ける」に進みます。

2 ●台所、洗面所、シャワーなどでお湯の温度を設定します。



を押し、給湯温度を設定します。

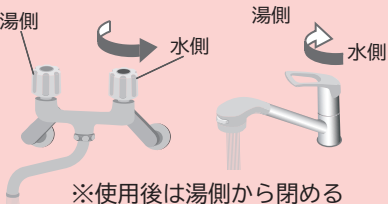
- 温度を高くしたいときは を押します。
- 温度を低くしたいときは を押します。
- 給湯温度は下に示したように設定できます。

低温 35℃・48℃・50℃・55℃・60℃
(水温) (1℃刻み)

(さらに製品の設定を変更した場合のみ) **高温**

3 混合水栓（蛇口）を開ける。

混合水栓（蛇口）は水 ●ツートハンドルの場合 ●シングルレバーの場合
側を開いてから、湯側を徐々に開いて適温にします。
お湯側から開くと急に熱いお湯が出たり、飛び散ることがあります。
※使用後は湯側から閉める



お知らせ

- 残湯量の目盛が のように消えている場合は、設定した温度のお湯が出ないことがあります。
- 水道の圧力が変動したり、2ヶ所以上で給湯を使用すると、湯温や湯量の変動することがあります。
- 混合水栓を開けて初めのうちは、配管に残った水が出るため、お湯が出るまで少々時間がかかる場合があります。
- サーモスタット付混合水栓で設定した給湯温度よりも低い温度のお湯が出る場合は、リモコンの給湯温度の設定を混合水栓の設定温度より約10℃高くしてください。

注意

給湯温度を「高温」に設定するときは、やけど防止のため、特に下記の点にご注意ください。

- 混合水栓（蛇口）は、やけど防止のため、必ずサーモスタット付混合水栓（現地準備品）を使用してください。
- シャワー使用時や入浴時は、高温の湯が出るおそれがあるため、必ず湯温を指先などで確かめてください。
- 小さいお子様や高齢者の方が使用されるご家庭では、危険ですので「高温」設定にはしないでください。
- 「高温」設定でお湯を使用したあとは、リモコンで給湯温度を下げたあとも配管内に残った高温のお湯が出るおそれがありますので、やけどにご注意ください。
(例えば、「高温」設定で浴そうにさし湯をしたあとにシャワーを使用する場合など、リモコンで給湯温度を下げても、配管内に残った高温のお湯が出るおそれがあります。)

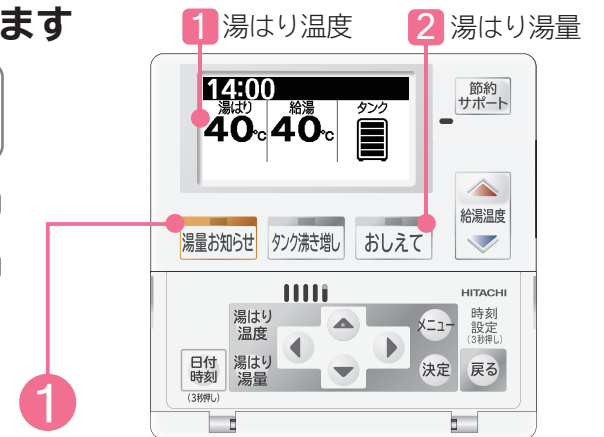


湯量お知らせの使いかた

準備 湯はり温度や湯はり湯量を確認します

はじめてお使いになるときは、必要に応じて **1 2 3** の設定を変更してください。

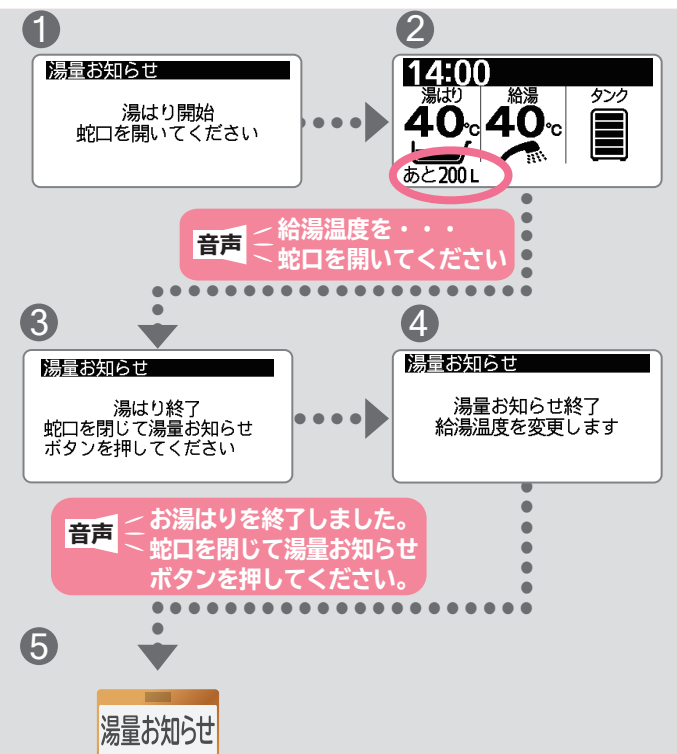
- 1 湯はり温度を確認します** → P.24
- 2 湯はり湯量を確認します。** → P.24
- 3 浴そうを確認します。**
※浴そうの排水栓を閉じます。



1 ふろの湯はりをします。 → P.25

湯量お知らせ ボタンを押す。

- 混合水栓（蛇口）を開く。
- リモコン表示部が標準画面に戻り設定給湯量の残りを表示します。→ P.25
- 残りの湯はり湯量が0Lになると、文字と音声でお知らせします。
- 混合水栓（蛇口）を閉じます
- 湯量お知らせ** ボタンを押す。



注意

やけどにご注意ください

お知らせ 湯量お知らせ中の給湯温度について

- 湯量お知らせ運転を開始すると、すべての混合水栓（蛇口）の温度が「湯量お知らせ」で設定した湯はり温度に変わります。湯はり温度を高めに設定している場合は、他の人がお湯を使用中でないか確かめて運転を開始してください。



- 湯量お知らせ運転中、給湯温度の変更はできません。

ご注意 湯量お知らせ終了後の給湯温度について

- 湯量お知らせ運転を終了すると、すべての混合水栓（蛇口）の温度が給湯温度に変わります。給湯温度を高く（例えば60℃）設定している場合は、他の人がお湯を使用中でないか確かめて湯量お知らせ運転を終了してください。

